

令和8年度学校経営計画書

学校名 三次市立和田小学校

校長名 古川 浩紀

I 学校の状況

学級数	9	児童・生徒数	59	教職員数	14
メールアドレス	wada-e@school.miyoshi.hiroshima.jp				
ホームページアドレス	http://www.school.miyoshi.hiroshima.jp/elementary/wada/				

II 学校教育目標

「つながりを大切にし、自ら考え、行動・挑戦する子供の育成」

【めざす子供像】

つながる子 考え行動する子 挑戦する子

◎つながる子 (ひと・もの・ことと関わる子、認め合う子)

*学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等の涵養【主体性】【協働性】

◎考え行動する子 (学ぶ喜びを感じる子、考え行動する子)

◎挑戦する子 (自分の夢や目標に向かって挑戦する子)

*生きて働く知識・技能の習得【知識・技能】

*未知の状況に対応できる思考力・判断力・表現力等の育成【思考力】【判断力】【表現力】

【めざす学校像】

児童・教職員にとって居心地がよく、一人一人がいきいきと活動する学校

【めざす教職員像】

社会や子供の変化に柔軟に対応し、アップデートし続ける教職員

【基本理念】

一人一人の力を最大限に伸ばし、可能性を引き出す学校経営の推進
(子供ファーストの視点での学校経営)

塩町中学校区小中一貫教育

【身に付けさせたい資質・能力】

- ①知識・技能 (基礎的な知識や技能の習得、既存の知識との関連付け)
- ②思考力 (課題の発見、情報の収集・蓄積、知識・技能の活用)
- ③判断力 (情報の取捨選択、結論の決定)
- ④表現力 (意思・意見の表現)
- ⑤主体性 (主体的な学び、進路の実現)
- ⑥協働性 (他者と協働・思いやり、社会へ貢献)

← コミュニティ・スクール
重点とする資質・能力

【児童・生徒の姿 (5つの約束)】

- ①話をよく聞く
- ②自分の思いを伝える
- ③あいさつをする
- ④家庭学習を毎日する
- ⑤テレビ・ゲーム・SNS利用のルールを守る

Ⅲ 使命・存在意義（ミッション）

なりたい自分の夢の実現のために、和田のひと・こと・ものとの対話を通じた多様な体験活動を通して、ふるさと和田への郷土愛を育むとともに、変化に対応した生きる力を身に付けた人材の育成に貢献する。

Ⅳ 重点事項（努力事項）

- 1 自ら課題を設定し、他者と協働して解決していくことを通して、獲得した知識や技能を汎用する力を付けるとともに、学ぶ喜びを感じる。
- 2 なりたい自分に向かって挑戦し、最後まで粘り強く取り組む態度を身に付ける。
- 3 他者とのつながりを大切にして関わる中で、相手のよさや自分のよさに気付き、認め合う態度を身に付ける。

Ⅴ 中心価値・行動規範

- 1 社会人としての自覚をもち、責任ある行動をとることで、信頼される学校、信頼される教職員となります。
- 2 子どもを大切にし、自分や家族も大切にします。
- 3 報告・連絡・相談・確認・記録を行い、協働して指導・支援にあたります。
- 4 社会の変化に適応し専門性を高めるために常に学び続け、協働する教職員集団となります。
- 5 働き方改革を進め、効率化を図りながらも充実した教育活動を提供します。

Ⅵ 現状分析

外部環境	<p>【支援的要因】</p> <p>○地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境に恵まれ、地域のひと・もの・ことが充実している。 ・地域の教育力の高さと学校教育活動への協力及び支援体制が整っている。 ・挨拶運動、登校指導、安全パトロール等、児童の安全を守る活動に協力的である。 ・保小・小小・小中・小高の連携体制が整っている。 <p>○保護者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育活動に対する協力や支援がある。 ・学校や地域に対する理解がある。 ・主体的なPTA活動が行われている。 	<p>【強み】</p> <p>○学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTを効果的に活用できる職員が多い。 ・同僚性が高く、一丸となって教育活動を推進できる。 <p>○児童</p> <ul style="list-style-type: none"> ・素直で明るく真面目な児童が多い。 ・学年を超え仲よく活動ができる。 ・縦割り班活動等でリーダー性を発揮する児童が多い。 	内部環境	<p>【支援的要因と強みを生かした取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域の教育的財産を生かした教育内容の創造、探究活動の実施 ○学校教育目標の実現に向けた資質・能力を意識した教育活動 ○特別支援教育の視点を大切にした個別最適な学び・協働的な学びの推進 ○ICT活用等による多様な表現の場の設定 ○主体性を育む縦割り班活動、学級活動、和伸会・委員会活動の充実
	<p>【阻害的要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校区が広く、少子化と高齢化が進んでいる。 ・活躍の場を設定しやすい児童数である一方、児童数が少ないため集団学習の設定ができていない。 	<p>【弱み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力や自己有用感が低い児童がいる。 ・自ら考えて行動・挑戦することに消極的な児童がいる。 ・生活習慣（メディア使用等）が確立していない児童がいる。 ・個別の支援や関係機関等との連携を必要とする児童が増加している。 		<p>【弱みを克服し、疎外的要因を回避する解決策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○理科を中心とした見方・考え方を働かせる授業づくりの推進 ○個別最適で協働的な学びの推進 ○R9図書館教育県大会に向けた取組の実施 ○自己有用感の向上をめざした教育の推進 ○メディア使用のルール厳守等、基本的な生活習慣の確立を目指した家庭との連携 ○関係機関と連携した家庭への支援の実施

